

◆自己紹介

東京海上火災保険㈱の情報システム部に入社、社内の情報システムの開発、維持、運用を行ないました。社内生活 30 年の中で、通算して 15 年間は、情報システム部に在籍。その他は、経営企画部 3 年、営業 3 年、海外駐在員 7 年が主な経歴です。

その後、日本情報システム・ユーザー協会へ出向、常務理事を経て、現在、事務局長の職にあります。

◆テーマについて思うこと。

1. 企業の中で IT 部門に求められること

情報システムの上に業務システムがあり、その上にビジネスモデルがある。

情報システムを作る前に、多くのやるべきことがある。

- ・業態、企業規模、情報子会社の有無によって異なる
- ・IT 部門の社内組織の中での位置づけ (中央集権型、連邦型、分散型) によっても異なる
- ・CIO, IT 部門長、S E 等の立場によっても異なる。

2. インソース・アウトソース戦略

その企業の基礎体力、IT 部門の体力に負うところが大きい。長期的な見極めが問われる。

- ・当該システムがコアかどうか。戦略というよりも適材適所である
- ・将来に渡って信頼に足るアウトソーサーの存在の有無
- ・

3. ユーザーとベンダーのマインドのズレ

- ・プロダクト志向か、プロセス志向か
- ・大規模障害発生が、ユーザーにとって、そもそもの問題であり、ベンダーにとっては何が原因で誰の責任かが気になる。

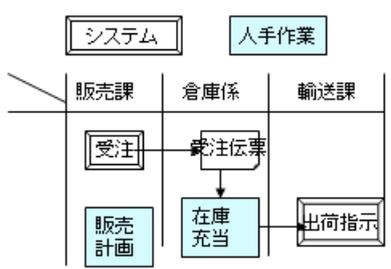
情報システムの上に業務システムがあり、その上にビジネスモデルがある



企画設計の流れ

- ③ 情報システム
- ② 業務システム
- ① ビジネスモデル

要求仕様書→要件定義書→基本設計書→プログラム設計書
 ・システム機能構成表(機能概要)、システム関連図、業務処理ルール定義、画面帳票、データ項目定義、運用操作要件書



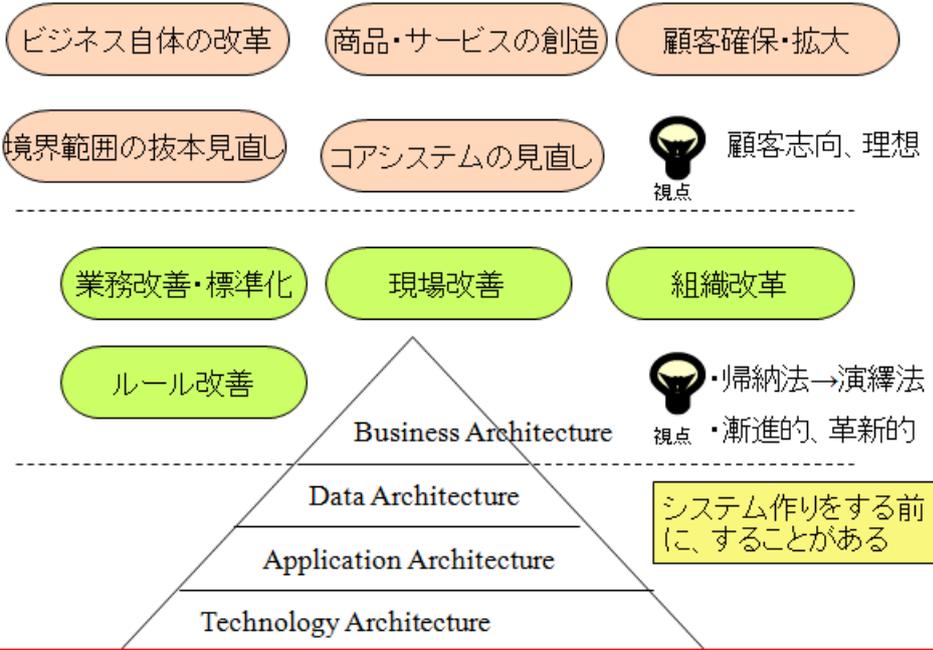
・目標、目的、構想、組織役割
 ・工期、処理量、品質管理、
 ・データアイテム、コード
 ・業務フロー図(シーケンス図他)
 現状業務を何を目玉にして変革するのか？効果をどこに求めるのかの視点が最重要(単なる業務標準化をしない)

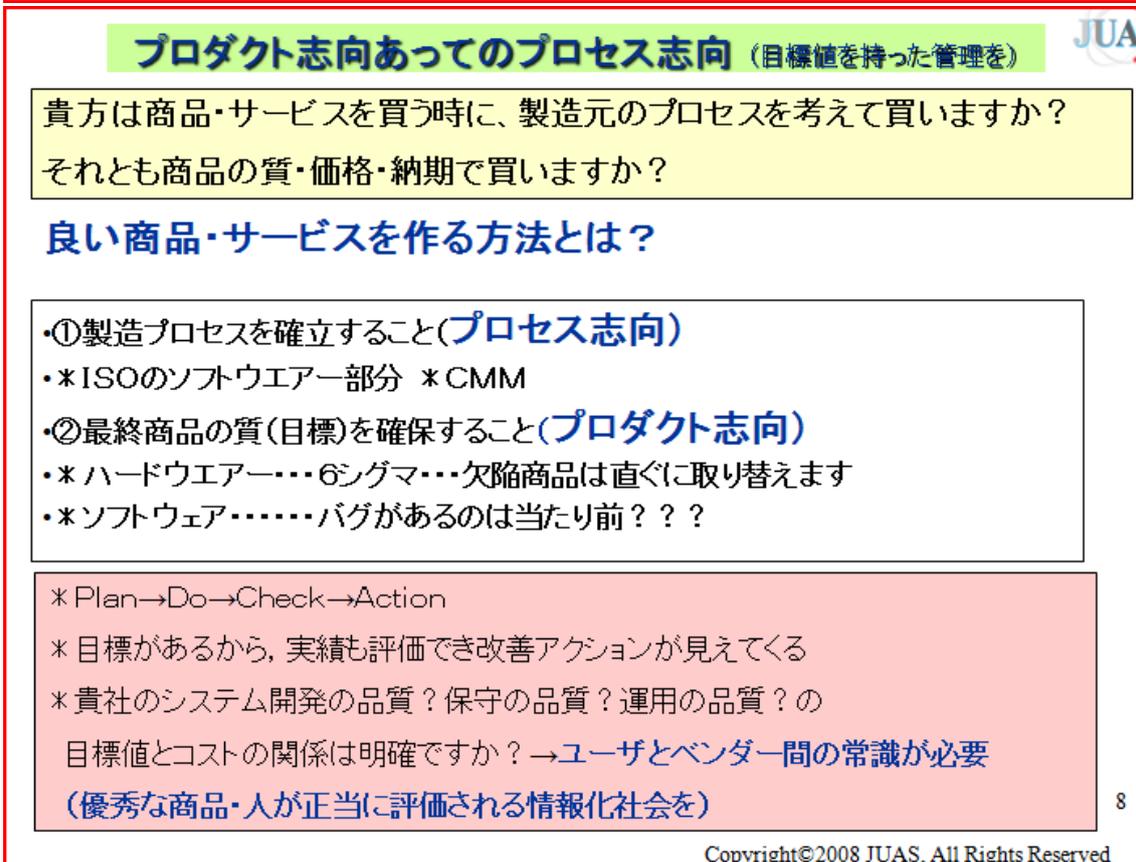
・商品・サービス・顧客戦略 ・組織、設備、工場 ・要員数、
 人材育成 ・資金

イノベーションの推進(3STEPの体系化を)

企画設計の流れ

- ① ビジネスモデル
- ② 業務システム
- ③ 情報システム



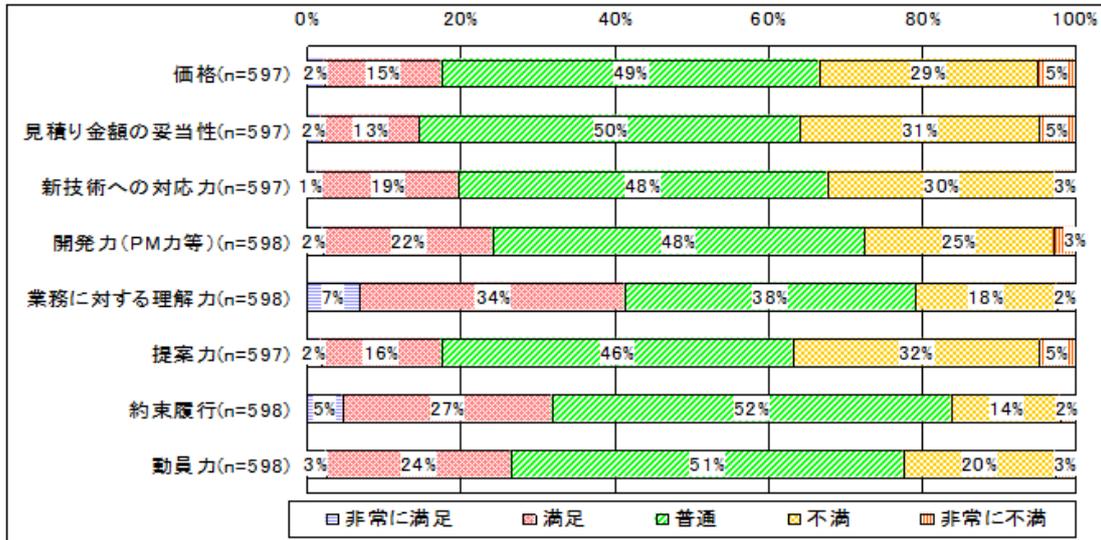


開発ベンダーへの満足度 言い訳より対策を



主な委託先1社への満足度

- 提案力不足
- 見積金額の妥当性不明

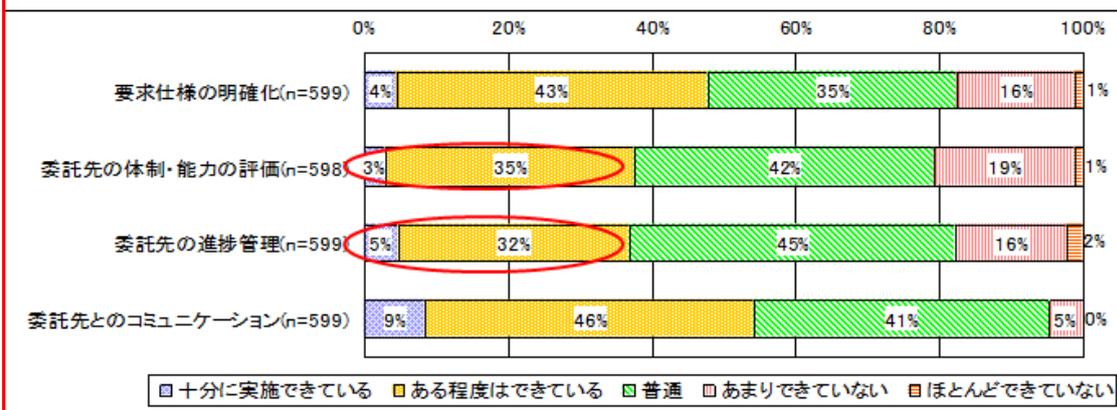


日本のユーザーは情報産業の高度な技術・品質、安価な高級システムによって支えられている

発注者としての反省点



開発を委託する際の発注者としての対応は「委託先の体制・能力の評価」「委託先の進捗管理」が低い結果に



システム仕様の定義を明確にし、適切な役割分担を行う